ふれあい福祉健康フェア・ひきこもりフォーラムを開催しました

関川村と福祉関係団体では、福祉や健康の関心を高めてもらうことを目的に、令和８年３月８日に「ふれあい福祉健康フェア」と「ひきこもりフォーラム」を開催しました。
子どもたちから高齢の方まで、多くの方にご来場いただき、福祉を身近に感じながら、世代を超えて交流できる一日となりました。







～ふれあい福祉健康フェア～

福祉施設の皆様による作品展示や物品販売、脳年齢や骨密度の健康チェック、福祉用具の体験など様々なブースが並びました。
誰でも参加できるニュースポーツ体験やスタンプラリー、キッチンカーなどの飲食ブースもあり、終日笑顔であふれていました。
ステージでは、地元団体によるキッズダンスや、手話劇、太極拳などが披露され、多くの来場者から温かい拍手が送られました。
福祉フェア最後のステージイベントでは「喜っ喜大会」が行われ、豪華景品を懸けて、会場が盛り上がりました。
※「喜っ喜（きっき）」とは関川村の方言で「じゃんけん」という意味。

～ひきこもりフォーラム～

NPO 法人新潟ねっとの村山氏、新潟大学准教授の中村氏によるトークセッションでは、「なぜひきこもるのか」「自分らしさってなんだろう」等いくつかのテーマに沿って対話していただきました。
また、NPO 法人プエルタ・ハルの代表とひきこもり当事者の方々からは、ひきこもるきっかけや外に出るきっかけ等、ご自身の体験や当時の想いをお話しいただきました。
参加者は、一人ひとりが抱える悩みや葛藤、周囲との関わりの大切さについて理解を深めるとともに、当事者の生の声に耳を傾ける貴重な機会となりました。





